

県内経済の動き

概況

〔2024年4月～2024年6月の動き〕

緩やかな回復が続くが一部指標は悪化

鉱工業生産指数（4月）は2カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（5月 細島港）は5カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は3カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は7カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（6月 保証対象請負総額）は12カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（5月）は前月比▲0.01ポイントの1.28倍で、6月の企業倒産は前月比2件増の7件、負債額は同21億35百万円増の24億37百万円となった。

物価上昇が続く中、6月開始の定額減税が家計の可処分所得を下支えするものの、消費喚起効果は限定的との見方もあり、個人消費の腰折れも懸念される。